

中 建 第 8 1 号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

中之条町長 入内島 道隆



今後の道路行政についての意見・提案の提出について(回答)

別添の通りお送りいたしますので、よろしくお願いいたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

群馬県 中之条町

地方部においては公共交通機関が貧弱であり、車社会への依存度は非常に高いものがあります。特に地方部では一人に一台の車所有でなければ生活できないのが現状であり、道路網の安全確保・道路管理の重要性は住民から益々強調されるところであります。

上信自動車道計画についての要望ですが、効率的な道路施策として全線を新設ではなく、既存の国道も利用した形で路線設定を行い早期開通を図るということも一つの選択肢であると思います。そうすることにより、路線に於ける既存の商店街の衰退を回避することができ、町の発展強いては地域の発展に繋がると確信します。

道路特定財源の確保を行い、地方部への集中的な財源投下を要望するところです。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

群馬県 中之条町

○現状 道路施策は社会福祉と同様に欠くべからざるものであり、町の予算の中においても明白であるし、依然として道路関係の陳情が一番多く町民から寄せられていることから確かであります。 現在我が町のもつとも緊急かつ重要な問題は医療の確保であります。特に産科・小児科医師の不足に伴うこれらの診療科目が病院から消え、地域での子育ては困難を極めています。しかも、この状態は今後改善の見込みもなく、さらに悪化の状況であります。	○課題 1、一刻も早く吾妻郡内に高速道路網を整備し、群馬が掲げる「幹線道路乗り入れ30分構想」の基、緊急患者等の医療可能圏への迅速な輸送を実現する必要があります。 2、少子化、高齢化が進むなか、安心して移動できるよう、交通安全に配慮した道づくりとともに、歩道の段差解消や勾配の緩和等ユニバーサルデザイン化を推進する必要があります。
--	--

今後の道路行政についての意見・提案

②－２ 地域の目指すべき将来像

様式 ③

群馬県 中之条町

高速道路網の整備は最優先課題であります。道路にただ単に早く目的地に到達するといった発想だけでなく、景色を楽しむ場・人と会える場所といった社交の場としての道づくりを進めることも、より豊で安心して生活できる地域の創造に繋がると考えます。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表例、期待する効果や評価等)

群馬県 中之条町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地域の活力の向上	上信自動車道	広域物流ルートと高度医療施設の時間短縮	沿線の活用
少子高齢化社会の対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	市街地の歩道整備	車椅子、シニアカー、乳母車等安心安全な日常生活	ユニバーサルデザイン化